

ID No.	2082
研究課題名	プロテオミクス解析を通じたがん骨転移巣における脂肪細胞の機能解明
研究代表者	佐藤 慎哉 (神奈川県立がんセンター臨床研究所・医長)
研究組織	
受入教員	尾山 大明 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究分担者	越川 直彦 (東京工業大学・教授)
	中村 圭靖 (神奈川県立がんセンター臨床研究所・技官)
	宮城 洋平 (神奈川県立がんセンター臨床研究所・所長)
	秦 裕子 (東京大学医科学研究所・技術専門員)
研究報告書	
2021年度は、骨転移巣において癌細胞が特異的に発現している蛋白質を抽出するため、乳癌細胞の血管内投与により作製したマウス骨転移巣を採取し、①転移癌細胞を含む骨髓成分のライゼートを作製した。対照として、②癌の転移していない骨髓成分のライゼート、③癌細胞のみのライゼートを作製した。①-③の各ライゼート20μgを用いてSDS-PAGEを行い、ゲルに銀染色を行った。その結果、①に特異的に発現するバンドを複数確認した。同バンドを切り出し、蛋白質精製後、オンラインナノ流速液体クロマトグラフィー-タンデム質量分析システム解析に供した。解析の結果、癌の進展・増殖に関与する蛋白分配酵素、シャペロン蛋白質が同定された。2022年度は蛋白質の発現を骨転移組織の免疫染色やウェスタンブロットで確認するとともに、骨転移組織のホールライゼートの分析も希望する。	